

住宅火災をなくそう

～火災を起こさない・火災から命を守る～



－ はじめに －

住宅火災の発生件数は年々減少傾向にありますが、住宅火災で亡くなる方はなかなか減りません。住宅火災の被害にあう方が少なくなるように、火災が起こる原因を学び、日頃から火災予防に努めましょう。

また、万が一火災が発生した際に、命を守る正しい行動や、被害を最小限に食い止める方法をしっかり理解しましょう。



【内容】

1 住宅火災の実態を把握しよう

- ・ 総務省消防庁「令和7年版消防白書」より

2 火災を起さないために！

- ・ 出火原因別に対策を学ぼう

3 万が一、火災が発生したら・・・

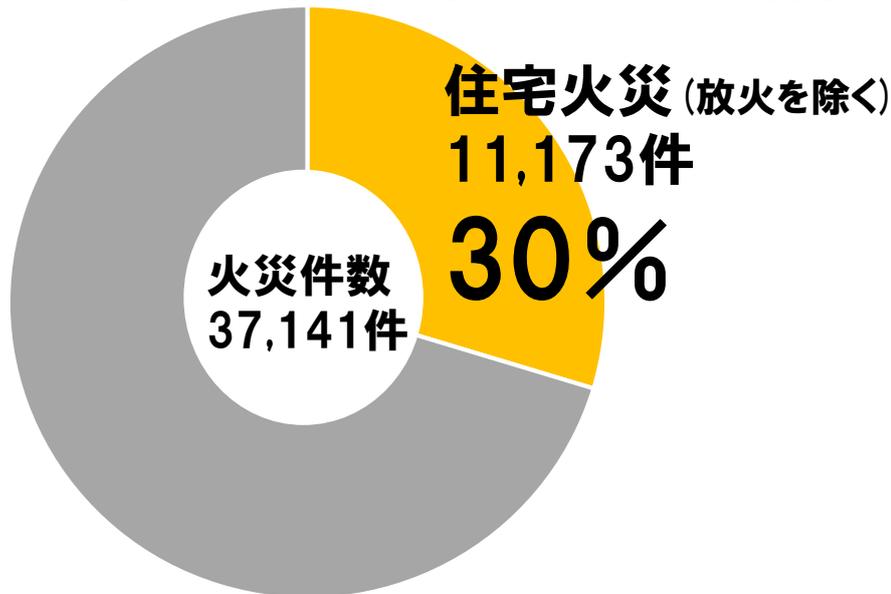
- ・ 正しい行動(発見・通報・初期消火・避難)を学ぼう

4 火災の被害を軽減させるには

- ・ 住宅用防災機器について学ぼう

1 住宅火災の実態を把握しよう

火災件数に占める住宅火災の割合は・・・

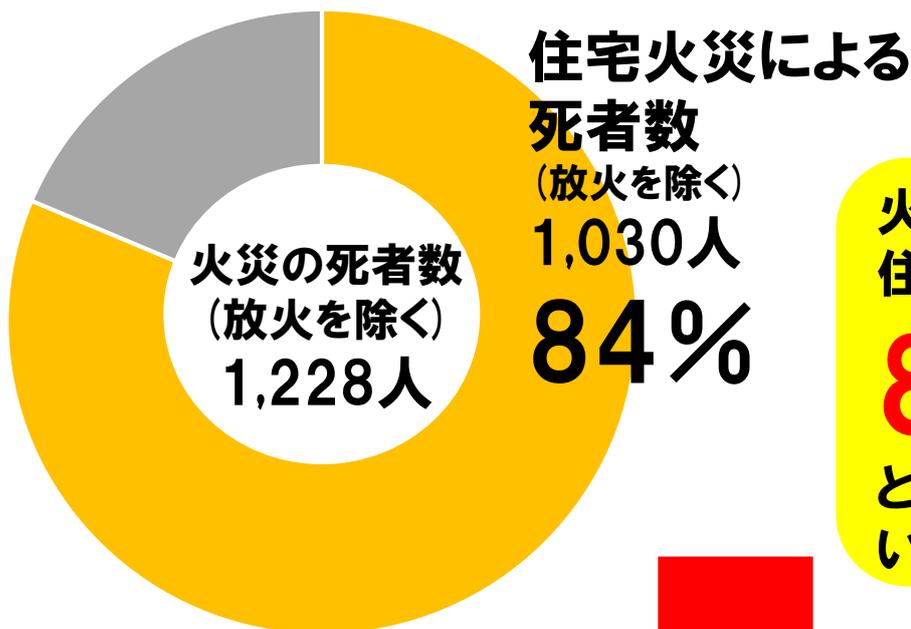


住宅火災は、全体の

30%

ですが・・・

住宅火災による死者数の割合(放火を除く)は・・・



火災の死者数のうち、住宅火災による死者数は

84%

と非常に高い割合になっています。

さらに、住宅火災による死者数(1030人)のうち、65歳以上の高齢者は・・・

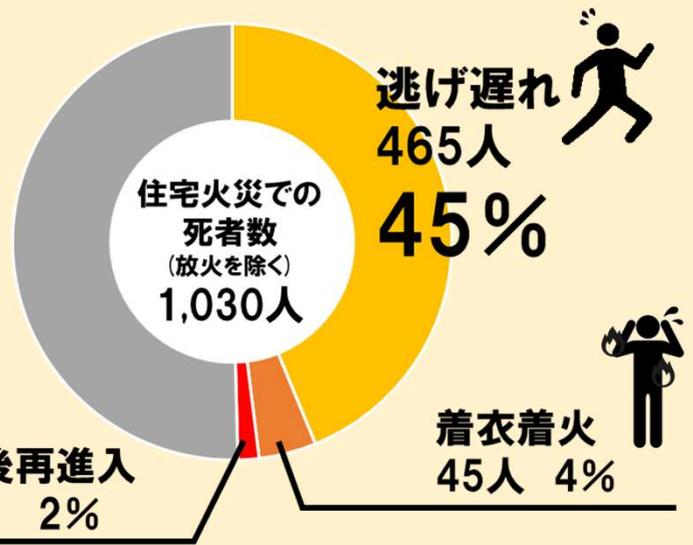
779人 (76%)



住宅火災による死者のおよそ半数が

『逃げ遅れ』

が原因です。



 屋外に避難したら、引き返さないようにしましょう！



出火後再進入
16人 2%



着衣着火
45人 4%

死者が発生した住宅火災で多い出火原因は



たばこ

電気器具 



ストーブ

こんろ



出火原因別に対策を学ぼう！！



2 火災を起こさないために！

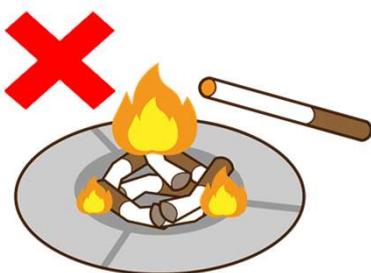
～ 出火原因別に対策を学ぼう～



たばこ火災

POINT 01

吸い殻はためずに
水に浸して捨てる



POINT 02

喫煙は決まった場所で
歩きたばこをしない



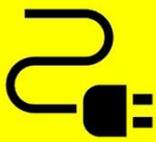
POINT 03

寝たばこをしない



たばこ火災は、炎をあげずに
布団や畳を焦がしながら燃え
広がるので、火災に気付きづ
らいのが特徴です。

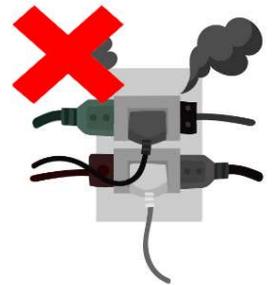




電気器具火災

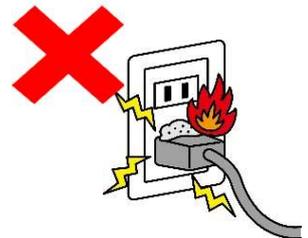
POINT 01

たこ足配線をしない



POINT 02

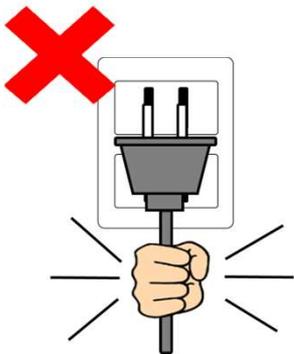
こまめに清掃をする



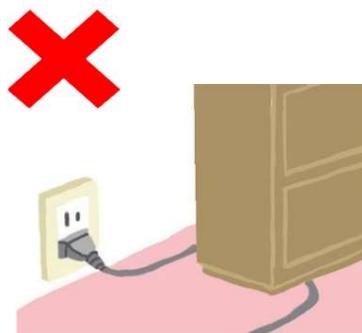
POINT 03

コードは正しい取扱いを

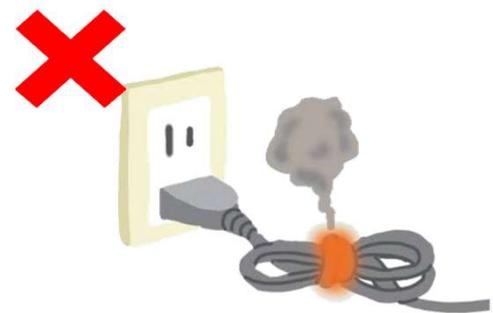
引っ張って
抜かない



重いものを
置かない



束ねたまま
使わない



使わない電気器具のプラグは抜くように心がけましょう！
また、古くなったものは新しいものに更新しましょう。





ストーブ火災

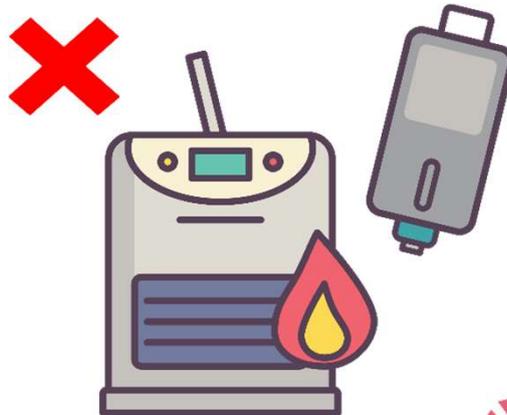
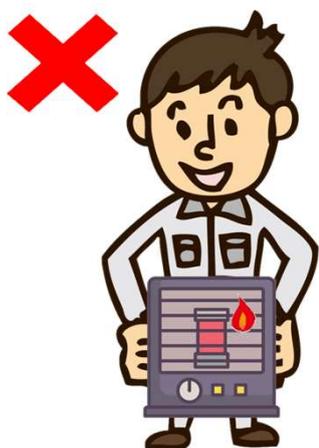
POINT 01

燃えやすいものを近くに
置かない



POINT 02

移動や給油をするときは
火を消してから



ストーブ火災は、みんなの注意
で減らせそうだね！





こんろ火災

POINT 01

そばを離れるときは
必ず火を消す



POINT 02

燃えやすいものを近くに
置かない

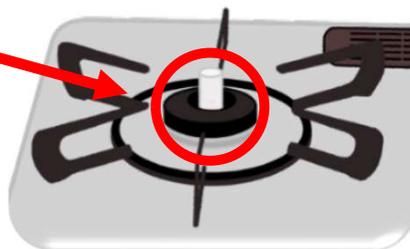


POINT 03

安全装置がついている
ものを使用する

Siセンサーこんろ

※詳細は「4火災の被害を軽減させるには」参照



IHクッキングヒーターに変える
のもいいかもね！！



火災予防のワンポイントアドバイス

放火火災

火災の出火原因別件数で上位を占める

『**放火**』の予防策を学ぼう！



POINT **01** 家の周りに燃えやすいものを放置しない

POINT **02** ゴミは決められた曜日・時間に出す

POINT **03** 家の周りや玄関先を明るくする。

ご近所との協力で、放火されない街づくりを！

着衣着火とは

こんろやろうそくの火が、着ている衣服に燃え移ること。

POINT **01** 防災品のエプロンやアームカバーを使用する

POINT **02** IHクッキングヒーターや電池式のろうそくを使用する

もし、衣服に火がついてしまったら・・・

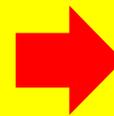
慌てて動くと
一気に燃え上が
ります！！



1 止まる



2 倒れる



3 転がる

3 万が一、火災が発生したら・・・

～ 正しい行動(発見・通報・初期消火・避難)を学ぼう～

STEP
01

発見

大きな声や音で、周りの人に火災を早く伝えましょう

火事だあ！！
火事だあ！！



STEP
02

通報

安全な場所で、慌てず、正確に通報しましょう。

キケン！
慌てて通報！！



安全を確保して！
落ち着いて正確に通報！

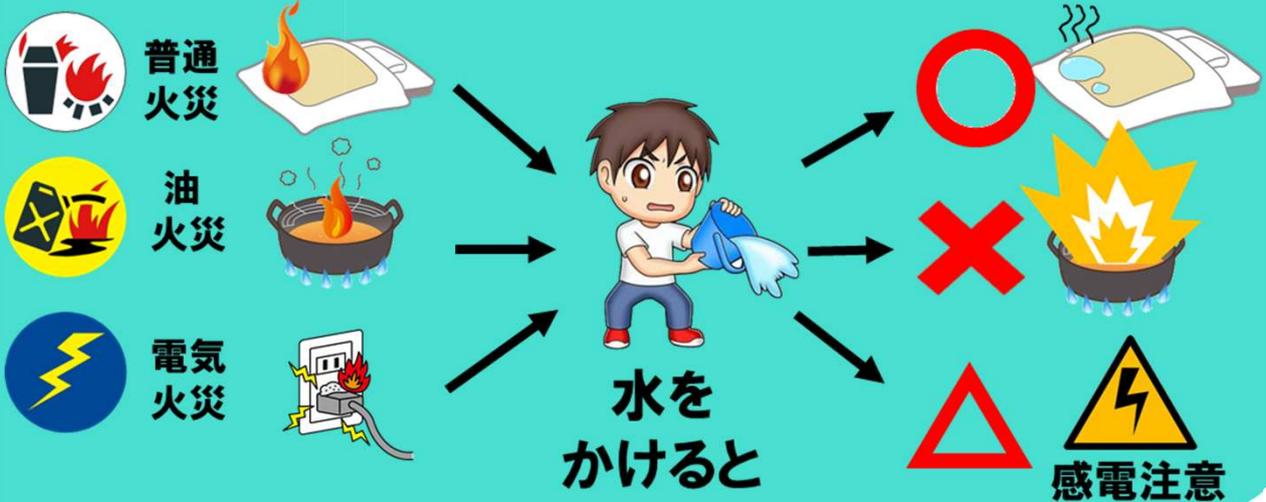


STEP
03

初期消火

火災の種類によって、消火方法が異なります。

【例えば・・・】



STEP
04

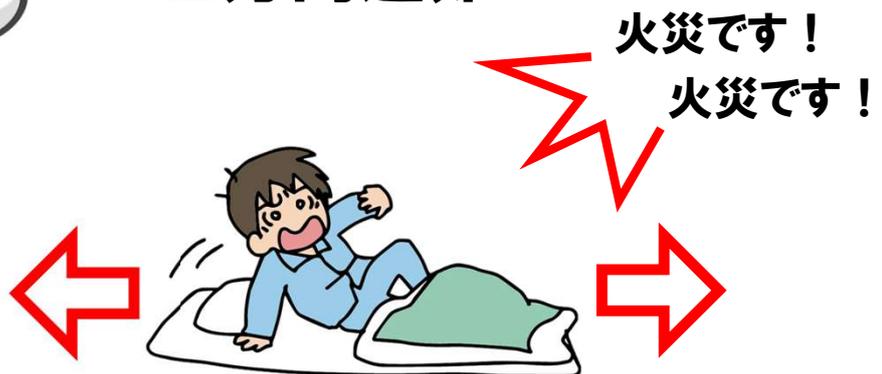
避難

落ち着いて、姿勢を低く、素早く、避難しましょう。

2方向以上の避難経路を確保しましょう。



2方向避難



4 火災の被害を軽減させるには

～ 住宅用防災機器について学ぼう～

CHECK 1

安全装置がついている「こんろ」「ストーブ」を
使用しましょう。



Siセンサーこんろ

「調理油過熱防止装置」、「立ち消え安全装置」、「こんろ消し忘れ消火機能」及び「グリル消し忘れ消火機能」の安全機能が備わったこんろ。



対震自動消火装置・給油時自動消火装置

地震や強い衝撃を受けた時、燃焼中に給油タンクを抜いた時に自動消火する安全機能。

CHECK 2

防災品を使用しましょう。

燃焼比較実験の様子(左:防災品 右:非防災品)

カーテン



エプロン



寝具



CHECK 3

住宅用火災警報器を適正に維持管理をしましょう。

住宅用火災警報器とは、煙や熱を検知して、警報音や音声で火災の発生を知らせる装置です。設置場所は、「寝室・階段・台所」です！



定期的に点検を！



10年を目安に交換を！

仙台市消防局

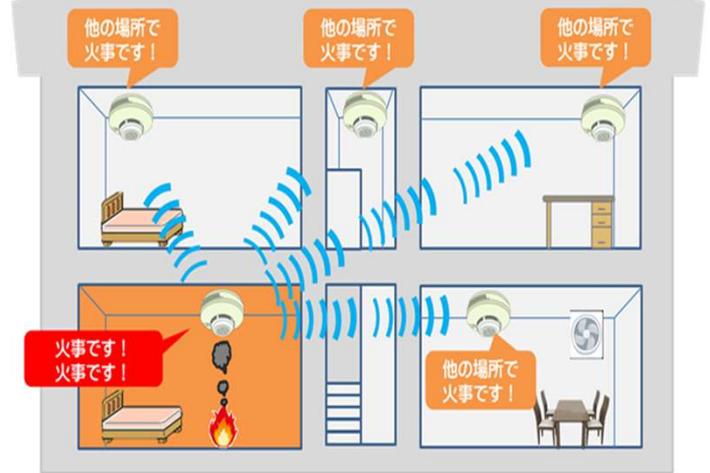
ご自宅の住宅用火災警報器に異常があると、火災に気付くのが遅れてしまうかも…！定期的に点検しましょう！

点検方法 のちや簡単！

ボタンを押す **PUSH!!** or ヒモを引く **PULL!!**

・正常 → 「正常です」
・異常 → 「電池切れです」または反応なし
※音声は機種により異なります。取扱説明書をご確認ください。

より安全な連動型に

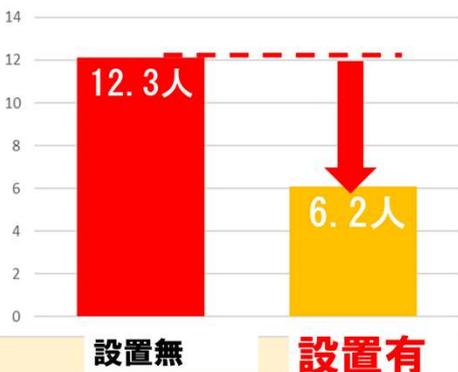


住宅用火災警報器って寝室の天井とかについてるのはわかるけど、本当に意味があるのかしら・・・

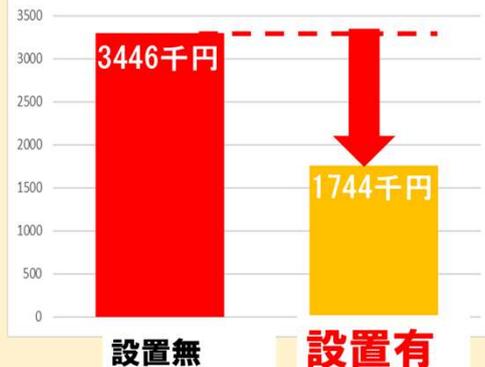


効果は一目瞭然！！

住宅火災100件当たりの死者数



損害額



焼損床面積



※総務省消防庁「住宅防火」より

死亡のリスクと損害額は半減！！
焼損床面積は6割減！！

CHECK 4

住宅用消火器をいざという時のために備えましょう。

住宅用消火器は粉末タイプと強化液タイプがあります

粉末タイプ⇒粉末薬剤が広範囲を覆って火勢を抑制する。
強化液タイプ⇒液体薬剤が霧状に放射され火を消す。

【適応表】

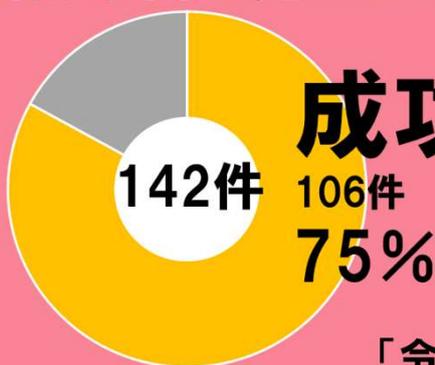
	木・紙	布団	灯油	天ぷら油	電気	消火範囲
粉末タイプ	○	△	◎	○	○	○
強化液タイプ		◎	△	◎		△

※住宅用消火器を購入する際は、必ず適応火災をご確認ください！！

《例》



仙台市内で発生した火災における初期消火成功の割合



消火器の成功率も

63%

(38件で実施。24件成功)

「令和7年仙台市火災統計」より

— おわりに —

火災のほとんどは、ちょっとした不注意で発生し、一瞬にしてすべてを焼き尽くします。安心安全な暮らしを守るため、一人ひとりが火災予防を心掛けていきましょう！

